

福島県 教育新聞

発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 酒井和紀
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
https://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

ろうぎんのキャッシュカードなら
ATMお引き出し手数料が

実質 **0円**

ご利用手数料はいったんご負担いただく場合がありますが、即時キャッシュバックいたします。

東北労働金庫

子どもたちに平和な未来を！今こそ、平和を！

日本教育会館にて、8月1日(土)母と女性教職員の会全国集会、8月2日(日)両性の自立と平等をめざす教育研究会が開催されました。

1日(土)の全体会は、「今こそ平和を『はだしのゲン』～9歳の少年がみた戦争と原爆の真実～」を神田香織さん(いわき市出身)が講談し、会場全体がまたたく間に作品の世界に引き込まれました。

原爆の怖さ、死への恐怖を体感するとともに、平和な未来を子どもたちに残したいという思いを共有する貴重な時間となりました。



講談師 神田香織さん



問題提起
管家柚香さん
(郡山支部)

8/1(土) 2026母と女性教職員の会全国集会・第3分科会 性と生・ジェンダー平等
「いろいろな生き方～多様性とあなたの在り方～」

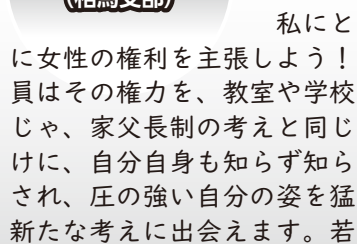
発表者：管家柚香さん



今回、初めてこのような学びの場に参加し、100人を超える参加者とともに包括的性教育について考える機会を得ました。さまざまな立場や経験をもつ方々が集まり、性やジェンダーについて学びたい、子どもたちに必要な学びを届けたいという思いを共有していることが印象に残りました。特に、多くの参加者が包括的性教育の必要性を感じ、実践につなげようとしていることから、学校現場だけでなく社会全体で求められている教育であることを実感しました。今回の学びを自分の実践に生かし、子どもたちが自分も相手も大切にできる学びにつなげていきたいです。

支部女性部長
横山優子さん
(相馬支部)

8/2(日) 2026両性の自立と平等をめざす教育研究会・講演会
「教室から編み出すフェミニズム～これからの学校に必要なジェンダー平等教育～」



私にとってフェミニズムは「性差別的な搾取や抑圧をなくすために女性の権利を主張しよう！」でした。しかし、フェミニズムの視点で見えてくる「教員はその権力を、教室や学校で、子どもに対する支配や抑圧に用いていませんか？それじゃ、家父長制の考えと同じじゃないですか？」という虎岩さんの至極真っ当な問いかけに、自分自身も知らず知らずのうちに家父長制的な考えに縛られていたことに気づかされ、圧の強い自分の姿を猛反省しました。全国集会に参加すると、自分の常識を覆す新たな考えに出会えます。若い先生方が参加して、全国の先生方から学んだら、今後の宝になると思います。



講師：虎岩朋加さん
(福島女子大学)

県女性部長
大波陽子さん
(福島伊達支部)

8/2(日) 2026両性の自立と平等をめざす教育研究会・分科会
第1分科会「ジェンダー平等教育」教員の二つのワークとジェンダー



全国の仲間と働き方や悩みを共有する貴重な時間を得ることができました。神戸大学・愛知教育大学名誉教授の山根真理さんを問題提起者、宮崎公立大学の寺町晋哉さんを助言者として、「女先生」「男先生」であるがゆえに固定化した役割があるのではという話題から始まり、グループ討論でも話題が尽きませんでした。私自身も、自分にあるアンコンシャスバイアスを後輩や子どもたちに引き継ぎがないための問い直しを得ました。悩みを語り合える場の重要性を再認識し、誰もが働きやすい職場環境づくりへ今後も連携を深めていきたいです。



第39回 日教組東北ブロック カリキュラム編成講座 (2026. 8. 29~30 あづま荘)



講師：広瀬義徳さん

関西大学教授の広瀬義徳さん(郡山市出身)に「共に在る、つながるを大切に～自立と能力主義の分断を超えて～」という演題で講演していただきました。夏休み明けにもかかわらず、東北各地からたくさんの参加がありました。「自立」と「依存」は表裏一体であること、「つながり(ソリダリティ)」が社会的結合をもたらすことを学びました。人と人との関わりの中で成長していくことの大切さを共に考え、教育の本質を問い直す時間となりました。



〈第1分科会〉「教育課程編成・実践」

日課表の時程を工夫して下校時刻を早めるようにしている実践や、部活動の地域展開への課題について考えました。部活動で地域クラブへの展開を進めていくためには、移動のためのバスなどの補助や、指導者の人件費などの予算が必要なることを確認しました。



〈第2分科会〉「働く環境」

宮城県のWeb入試の問題や岩手県の部活動地域展開などの実情が出され、活発な意見交換がなされました。秋田県からは女性の労働環境について中学校での実践が報告されました。アンケートの結果を見ながら皆で学び合い、有意義な時間となりました。



〈第3分科会〉「学校の人権」

郡山市での子どもの意見をとり入れない学校統廃合、酒田市の制服選択制の実践、山形市の夜間中学開校が問題提起されました。今までの「学校の当たり前」を真摯に問い直すことが、子どもの人権を守ることにつながることを再確認しました。



第48回 日教組東北ブロック 青年教育労働者研究集会 岩手大会 (2026. 8. 22~23)



今年は、岩手県盛岡市のつなぎ温泉ホテル紫苑にて開催され、福島県からは青年部の5人が参加してきました。1日めは、『「職場をつくる人」になる!』というテーマで、岩手県教組中央執行委員の八重樫千晶さんから講演を聞き、その後の分散会では、各県それぞれの職場の実態について情報交流を行いました。

2日めには、①授業づくり、②子ども対応、③人間関係、④私生活との両立、⑤働き方改革の5グループに分かれて、それぞれ情報共有と意見交換を行いました。

～参加者の感想～



大学生がいい職場だと思う職場の第1位は、人間関係が良好であること。そんな職場をつくるために、青年部として何ができるのか改めて考える機会となりました。常任委員として、現場の青年層の思いや声をしっかりと聞き、分析して要求していく事が大切だと感じました。

賃金格差以外にも、ライフステージや男女の働き方の格差も今後の課題となるのではないかと、改めて考えさせられました。

分科会では、家庭と仕事との両立というテーマで話し合いました。どの県でも一番ネックになるのが、異動問題でした。特に教育事務所を超えての大きな異動のノルマがあることが、ライフプランを考える上で、将来への不安に繋がっていると話題になりました。時短勤務や休暇等制度は増えてきていますが、職場に申し訳なさを感じながら使っていることが現状でもあるため、どうしたら青年層が不安なく家庭と仕事の両立ができるかを考えていくことも大切であると感じました。



～カリキュラムオーバーロード～ Ver. 2

教育課程編成検討推進委員会

教育現場の疲弊を解く 歴史的背景& 5つの提言(その1)



授業時数を減らしましょう！

6校時めは授業に
ならないよね。



集中力が持たない。
落ち着かなくて、
しゃべってばかり。

〇〇さん、居眠り
してたよ。
疲れてるんだね。



市町村教育委員会の中には、教育課程編成にあたって、
週あたりの時数を次のように示している委員会もあります。

- ・1年生 週25時間
- ・2年生 週26時間
- ・3年生 週28時間
- ・4～6年生 週29時間です。

これを1日の授業に当てはめると、

- ・1年生 毎日5校時
- ・2年生 6校時が週1日
- ・3年生 6校時が週3日
- ・4～6年生 6校時が週4日になります。



現在の学習指導要領では、小学
校4年生と中学生が年間1,015時
間で同じ授業時数になっています。
これは、子どもの発達段階を考慮
していない、おかしいことです。

子どもたちのいじめや不登校が
増え、教職員の精神疾患による病
休が減らないのは、授業時数も要
因のひとつとして考えられます。

今、こんな状況だからこそ、ゆとりをもって学習にとりくめる時間が、教職員にも子どもたちにも必要です。福島県教組教育課程編成検討推進委員会は、これまでに作成した職場討議資料で、モジュール授業の推進（朝の時間15分×3日＝45分で1単位時間）や学校行事の時数のとり方の工夫等で、時数を減らせることを提言してきました。そして、多くの現場で実現してきました。これからも、ゆとりある教育課程編成のとりくみを各校で進めていきましょう。



私たちは、今後も国に対して授業時数を削減し、あわせて、
学習内容の削減を訴えていく必要があります。

小4～6は毎日5時間(週25時間)
中1～3は週2日6校時(週27時間)に。



夏休みボケ



8月4日～6日に開催された原水禁広島大会に初めて参加しました。

広島に到着してすぐ、平和行進に参加し、開会集会が行われました。2日めは午前中に原発問題の分科会に参加し、午後は厳島神社に行ってきました。3日めは朝、平和記念公園に行き、式典に参列し、その後、閉会集会に参加してきました。

終戦から81年たっても核兵器は存在しています。昨今の厳しい世界情勢の中で、平和を勝ちとるための運動をさらに強めていかなければならないと感じました。

(福島伊達支部 酒井亜希子)

2026原水禁世界大会
広島大会 8/4～8/6

広島平和記念公園



広島原爆ドーム

2026原水禁世界大会
長崎大会 8/7～8/9

長崎平和記念公園



軍艦島



長崎への訪問は3度めですが、戦争の歴史を現代に伝える遺構の多さを改めて感じさせられました。爆心地から約1キロ離れた長崎市立淵中学校の校地内には、戦争で命を落とした中学生や教職員の慰霊碑があります。今回はこちらで献花をさせていただくとともに、校地内にある資料館も見学しました。

原爆投下のその日、その時刻を、現地で迎えるということの重みも感じました。市内のいたるところから鎮魂の鐘の音が響きわたり、参加した方々とともに爆心地公園で黙祷しました。

現地を実際に訪れることで、自分の記憶や経験、考え方をアップデートすることにつながると強く感じます。貴重な機会をいただけたことに感謝します。

(東白支部 吉田 純一)

奨学金返済の見直しをろうきんにご相談ください！〈奨学金借換融資「ミライノワ」〉



奨学金借換融資「ミライノワ」は、若年層の奨学金の金利上昇や返済長期化などによる社会問題に対して、東北ろうきんが若年層組合員の生活支援を目的(社会的使命)として発売した低利な融資商品です。

※団体会員の皆さまの場合、最大500万円まで「自動車購入」「教育費用」「住宅リフォーム費用」を奨学金借換費用(※奨学金の残高が100万円以上ある場合)と合算できます。

【参考】奨学金480万円をミライノワに借換えた場合

2026年8月1日現在

金利タイプ		団体会員の方	生協組合員の方 一般の方
固定金利型 (最長15年)	奨学金借換のみ	年0.6%	年1.2%
	奨学金借換+500万円まで※	年1.2%	ご利用いただけません

※下記シミュレーションは概算です。詳しくは、ろうきん各支店にご相談ください。

福島県教職員組合に加入の方はこちら！

	借入金額	返済期間	金利	月返済額	総返済額
奨学金	480万円	15年	年2.423%	31,832円	約573万円
ミライノワ	480万円	15年	年0.6%	27,891円	約502万円

→借換えで、月返済額 約3,900円、総返済額 約71万円の返済負担軽減に！

〈ろうきん〉は勤務先でも手続きや相談が可能です！組合や〈ろうきん〉にお気軽にご相談ください！



ミライノワの商品詳細はこちら

〈HP〉



〈説明動画〉

